

下川成の歯痛を治す地蔵

昭和六十二年一月一日号

下川成の畑の片隅に、行儀よく座っているお地蔵さんがあります。このお地蔵さんは、歯が痛いときこそ利益があるといわれます。

夢にあらわれた地蔵

昔、昔のことです。ある夜、米山さんのおじいさんは、お地蔵さんの夢を見ました。お地蔵さんは、「私は川成のあぜ道に埋まっています。どうぞ私を掘り出してください」と言っているのです。

翌朝、おじいさんはみんなに頼んであぜ道を掘ってみると、夢で見たお地蔵さんが出てきました。



お地蔵さんの首は折れ、左手は途中で欠けていました。右手をほつぺに当てて痛そうな顔をしていました。お地蔵さんは、とても優しい顔になりました。

歯痛を治す

あるとき、歯が痛くて困っている人が、ほつぺに手を当てながら通りかかりました。お地蔵さんがほつぺに手を当てているのを見て、「お地蔵さんも歯が痛いですか？」と、自分のほつぺをなでたり、お地蔵さんのほつぺをさすったりしているうちに、痛みがとれてしまいました。「ああ、ありがたい」と、手を合わせてお地蔵さんに何度も言いました。それから、歯が痛くて困っている人は、お地蔵さんのほつぺをさすり、「早く治りますよ

うに」とお願いするようになりました。

痛みを忘れる優しい顔

外山晃さん（下川成）

お地蔵さんをまつっている外山晃さんは、昔は供えた水を飲むと治るともいわれました。優しい、ふくよかなお顔を見てみると、本当に歯痛が治りそうな気がします」と語ってくれました。

